

留萌きつらめき舞台物語

#4 松澤 伸樹さん



新星マリン漁業協同組合
留萌地区なまこ部会長
まつざわ のぶき
松澤 伸樹 さん

最新IT技術で資源管理

なまこ部会が水産庁長官賞を受賞

今年3月に東京都で開かれた第21回全国青年・女性漁業者交流大会に出場した新星マリン漁業協同組合留萌地区なまこ部会（以下・なまこ部会）は、「マリンITによる漁業者主体の資源管理―協調操業で回復させたナマコ天然資源―」を発表し、8年に及ぶ資源管理の取り組みが高く評価され、水産庁長官賞に輝きました。

なまこ部会では、平成20年から公立はこだて未来大学や東京農業大学、稚内水産試験場などの協力を得ながら、最新のIT技術を活用した資源管理に取り組んでいます。

なまこ部会長の松澤伸樹さんは「水産庁長官賞は、歴代部会

長が努力してきた成果であり、協力してくれたたくさんの方たちのおかげだと感じています。なまこ部会の取り組みが評価されたのはうれしく思います」と笑顔を見せてくれました。

最新のIT技術を活用した資源管理では、水深などを集積したネットワーク情報と魚群探知機のデータを基に作製した桁びき漁場の海底地形図でナマコの分布や量を推定することができ、資源解析プログラムを活用しています。このプログラムはタブレット端末で資源解析情報を確認することができ、ナマコの捕り過ぎを未然に防げるようになりました。

「以前は、捕り過ぎた年も多

く、天然資源の減少により休業も考えたこともありましたが、IT技術を活用した資源管理を導入したことで、減少していたナマコの天然資源をV字回復させることができました」と振り返っています。

「今後は、さらに協業化による経営の合理化なども検討しながら、会員の収入の安定化につなげていきたいと考えています」と話してくれました。

なまこ部会の取り組みなどについては、左記へお問い合わせください。

問 43 11111 新星マリン漁業協同組合



▲操業準備に励む松澤伸樹さん